

m.

That's Mine. It's Mine

GEO協議会だより

編集・発行：Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会事務局

ユネスコ世界ジオパークの認定を目指します

Mine秋吉台ジオパーク推進協議会は「ユネスコ世界ジオパーク認定」を確実かつ早期に実現するために、来年2019（平成31）年に申請書を提出します。認定までの道のり、それに伴う活動方針、ご協力のお願いを各地に説明に参ります。

「世界認定」に向けて、「幸せな地域の創造」に向けて、市民の皆さまのご意見やアイデアをお聞かせ下さい。



NEWS! 公式Instagramを開設しました。「Mine秋吉台ジオパーク」フォローをお願いします！

夏休みイベントのお知らせです

私達が住んでいる日本列島は、『付加体-ふかたい-』でできている！こんな言葉を聞いただけでは？？？のオンパレード。『付加体』ってなに？どうやってできたの？そんな『？-はてな-』をお菓子を使って楽しく・美味しく学びます★ ※活動時に撮影した写真をHP等に掲載いたします。ご了承ください。

日程

時間（両日とも）

◎8月5日(日)

●1回目:午前10時～11時
(受付時間午前9時)

◎8月18日(土)

●2回目:午後 2時～ 3時
(受付時間午後1時)

GEO
ジオ・ラボ
LABO

- 参加費 無料
- 対象 小学4年生以上
- 定員 各回5～7名程度（当日先着順受付）
- 場所 Mine秋吉台ジオパークセンター
Karstar (GEO LABO mine 研究室)
- お問合せ 0837-63-0040

おいしい&たのしいよ



問合せ Mine秋吉台ジオパーク推進協議会事務局

〒754-0511 山口県美祢市秋芳町秋吉1237-862 カルスター(Mine秋吉台ジオパークセンター)
TEL : 0837-63-0055 FAX : 0837-63-0089 E-mail : mine-geo@city.mine.lg.jp

げなげなジオ話⑤

大雨の日も秋吉台は楽しい

先日、西日本各地に大雨が降った日に、秋吉台を見て回った。一番のお目当ては帰水。帰水は秋吉台最大級のドリーネで、枯れることがない湧水があり、小川となって20m近くドリーネの底を流れたあと、ふたたび地中に帰っていくので、その名がついた。吸い込み口は、ぽっかり穴が開いているわけではなく、川底の砂利の間に浸み込んでいる。大雨が降ると、湧水が増えるだけでなく、ドリーネに降った雨も集まってくるので、吸い込みが追いつかず、一時的に湖ができる。写真はよく見るが、実物を見たことがなく、チャンス^{ほんり}を待っていた。

合羽を着て傘をさし、外からの雨、中からの汗にくっしょり濡れたが、畔^{ほとり}に立って、湖の大きさ、台上を流れる水の勢いを実感でき、来てよかったと思った。

美東町の碓地区では、吸い込み穴から水が逆流することがあると聞いていた。逆流は確認できなかったが、田んぼが何カ所も冠水していた。大正洞の入口近くの犬ヶ森ポノール（吸い込み口）の上流にできた、新しい吸い込み口付近は、水があふれて近づけなかった。

秋芳洞の入口に回れば、洞への道の上を水が流れ、洞口に近づくことができず、当然のことながら閉鎖中だった。こんな後は、洞内の遊歩道に泥が貯まって、その清掃がそれは大変げな。



帰水の一時湖



碓地区の冠水状況

認定ジオガイド 檜崎 知行

第5回 ^{ごぼう} ドリーネ畑で牛蒡を作る！

収穫予定日が、梅雨の大雨だったので収穫日を一日順延した。参加者が減り作業が思いやられたが、おぼっちゃまの参加で癒され、収穫も進んだ。

ジャガイモ(男爵)の収穫量は、約30kgとなり、参加を取りやめたメンバーへも配ることができた。

牛蒡もわずかに成長がみられる。里芋は、秋の収穫に向けぐんぐんと成長している。播種の時期を逸した人参を撒き、昨年の失敗の雪辱を誓う。



認定ジオガイド 吉松 三男

アパラチアントレイル旅行記② —ジオガイドをめざす「Karstarスタッフ」の山田^{とみお}富郎によるコラムです—

「トレイルエンジェル」と呼ばれ、ハイカーをサポートしてくれる人達がいる。ミス・ジャネットもその一人で、彼女と初めて出会ったとき連絡先が書かれた紙を渡された。ジョージア州からメイン州まで、無料または寄付金によりどの区間でも送迎をしてくれる。他にも、大きなテントを立てて、トレイル上でお菓子やジュースを提供してくれる人もいた。

エンジェル達の中には自分自身がトレイルを歩いた人もいる。過去に手助けを受けた人の恩返し^{めぐみ}の循環が、新たなトレイルエンジェルを生み、ハイキング文化を作っている。

トレイルエンジェルとの出会い



※アパラチアントレイル…ジョージア州からメイン州をつなぐ自然遊歩道 3,500 km のハイキングコース